

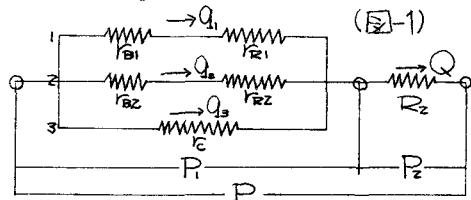
MIXED MODAL SPLIT (2)

京都工大工学部 正員 近藤 勝直
京都工大工学部 学生員 ○川端 元寿

O. はじめに

本研究は、都市圏輸送に代表されると思われる二地点間の経路分担率を輸送サービス水準の変化による転換誘発現象に重点をおいて説明する電気回路モデルを用いて混合トリップの取扱い方にについて検討したものである。この電気回路とのアナロジーによる方法の基本的な考えは、「(1)路線を利用して乗客が流動するには路線の両端にある種の圧力(吸引力)が作用するためであるとする。これを電圧と考える。(2)路線の乗客流動量を電流と考える。(3)路線のサービス水準を抵抗と考える。」である。

1 モデル例1



(表-1)

R	路線に存する抵抗(添字BR.C.はでかいバス鉄道車を表す)
q	路線輸送量(添字番号は路線を表す)
P	乗客の運動を引き起こすある種の圧力(吸引力)
P'	路線の両端に作用する圧力
Q	各路線の輸送量の総和(総輸送量)
R'	直列抵抗

ここでは、交通機関をバス・鉄道車とし、図-1に示すモデルを考える。(記号は表-1参照)
路線1,2,3の合成抵抗をR₁,R₂,R₃とし、並列路線部の合成抵抗をR_zとすると、

$$P = QR \quad (1)$$

$$R = 1 / \left(\frac{1}{R_1} + \frac{1}{R_2} + \frac{1}{R_3} \right) \quad (2)$$

R_zとR_zにかかる圧力、R_zを直列抵抗とすると

$$P_z = QR_z \quad (3)$$

R₁, R₂とPの関係は

$$P = P_1 + P_2 = Q(R_1 + R_2) \quad (4)$$

したがって

$$Q = \frac{P}{R} = \frac{P_1}{R_1} = \frac{P}{R+R_z} \quad (5)$$

今、路線1の抵抗が輸送サービス水準の向上によってR₁に減少したとすると、総輸送量Qおよび総輸送量の増加分ΔQは、

$$Q' = P / (R' + R_z) \quad (6)$$

$$\Delta Q = Q' - Q = P \left\{ 1 / (R' + R_z) - 1 / (R + R_z) \right\} \quad (7)$$

$$\text{ここで } R'_1 = 1 / \left(\frac{1}{R_1} + \frac{1}{R_2} + \frac{1}{R_3} \right) \quad (8)$$

このΔQは潜在していける輸送需要の誘発と考えることができる。また並列路線部にかかるP

1 電圧に相当するP₁は

$$P_1' = P_1 - 4P \quad (9)$$

$$4P = 4QR_z = PR_z \left\{ 1 / (R + R_z) - 1 / (R'_1 + R_z) \right\} \quad (10)$$

に変化する。各路線の輸送量Q_i'は

$$Q_1' = P_1' / R_1' = (R_1 - 4P) / R_1' \quad (11)$$

$$Q_2' = P_1' / R_2 = (R_1 - 4P) / R_2 \quad (12)$$

$$Q_3' = P_1' / R_3 = (R_1 - 4P) / R_3 \quad (13)$$

∴より抵抗の変化しない路線2,3の輸送量は減少し、輸送量の減少分の総和は。

$$\Delta Q_2 + \Delta Q_3 = (Q_2 - Q_2') + (Q_3 - Q_3') = 4P \left(\frac{1}{R_2} + \frac{1}{R_3} \right) \quad (14)$$

であり、これは輸送サービス水準の変化しない路線から輸送サービス水準の向上した路線への転換輸送量であると考えることができます。

次に路線1の輸送量の増加分ΔQ₁は

$$\Delta Q_1 = Q_1' - Q_1 = (R_1 - 4P) / R_1' - R_1 / R_1 \quad (15)$$

一方、P₁によってΔQを表わすと

$$\Delta Q = (P_1 - 4P) / R_1' - P_1 / R_1$$

$$= (P_1 - 4P) \left(\frac{1}{R_1'} + \frac{1}{R_2} + \frac{1}{R_3} \right) - P_1 \left(\frac{1}{R_1} + \frac{1}{R_2} + \frac{1}{R_3} \right) \quad (16)$$

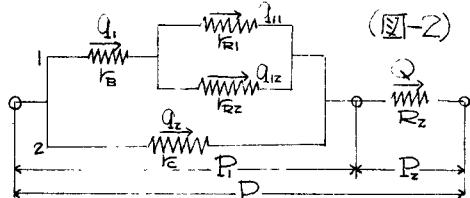
(14) (16) 両式より

$$4Q + (4q_1 + 4q_2) = (R - 4P)/R' - R/R = 4Q_1 \quad (17)$$

したがって輸送サ-ビス本準の向上した路線1

では、誘発交通量 $4Q$ と転換交通量 $4q_2$ の和の輸送量が増加することになる。

2 モデル例2



$$q'_1 = R'/R_1 = (R - 4P)/R' \quad (25)$$

$$q'_2 = R'/R_2 = (R - 4P)/R_2 \quad (26)$$

$$4Q_1 = q'_1 - q_1 = (R - 4P)/R_1 - R/R = 4Q_1 \quad (27)$$

$$4Q_2 = q'_2 - q_2 = R/R_2 - (R - 4P)/R_2 = 4P/R_2 \quad (28)$$

一方、 P_1 を用いて輸送量の増加分 $4Q$ を表す

ここでは、路線1内に鉄道 R_1, R_2 が並列に存するとして路線2のモデルを考える。記号はモデル例1にしたがつものとする。

路線1, 2の合成抵抗を R_1, R_2 、並列路線部の合成抵抗を R とする。ここに、

$$R_1 = R_1 + 1/\left(\frac{1}{R_1} + \frac{1}{R_2}\right), R_2 = R_2 \quad (18)$$

$$R = 1/\left(\frac{1}{R_1} + \frac{1}{R_2}\right) \quad (19)$$

モデル例1と同様に、輸送サ-ビス本準の向上によって路線1の抵抗 R_1 が $R_1 + 1/R_2$ に減少したとすると、並列路線部の合成抵抗 R 、輸送量 Q 、総輸送量 Q 、総輸送量の増加分 $4Q$ は

$$R = 1/\left(\frac{1}{R_1} + \frac{1}{R_2}\right) \quad (20)$$

$$Q = P/(R_1 + R_2) \quad (21)$$

$$4Q = Q - Q = P\left\{1/(R_1 + R_2) - 1/(R_1 + R_2)\right\} \quad (22)$$

また並列路線部にかかる R_1, R_2 は

$$P_1 = R - 4P \quad (23)$$

$$4P_1 = (Q - Q)R_2 = PR_2\left\{1/(R_1 + R_2) - 1/(R_1 + R_2)\right\} \quad (24)$$

に変化する。

各路線の輸送量 q'_1, q'_2 、輸送量、増減分 q_i は

$$4Q = (R - 4P)/R' - R/R = (R - 4P)\left(\frac{1}{R_1} + \frac{1}{R_2}\right) - P\left(\frac{1}{R_1} + \frac{1}{R_2}\right) \quad (25)$$

したがって(25) (26) 両式より

$$4Q + 4q_2 = (R - 4P)/R_2 - R/R = 4Q_2 \quad (26)$$

よって輸送サ-ビス本準の向上した路線1では誘発交通量 $4Q$ と転換交通量 $4q_2$ の和が輸送量の増加分となる。次に路線1の輸送量 q'_1 は鉄道 R_1, R_2 の輸送量 q'_1, q'_2 に配分される。

$$q'_1 = \frac{R_2}{R_1 + R_2} \cdot q'_1 = q'_1 / \left(1 + \frac{R_1}{R_2}\right) \quad (31)$$

$$q'_2 = \frac{R_1}{R_1 + R_2} \cdot q'_1 = q'_1 / \left(1 + \frac{R_2}{R_1}\right) \quad (32)$$

よって鉄道 R_1, R_2 の輸送量の増加分 $4q_1, 4q_2$ は

$$4q_1 = q'_1 - q_1 = q'_1 / \left(1 + \frac{R_1}{R_2}\right) - q_1 / \left(1 + \frac{R_1}{R_2}\right) \\ = (R - 4P) / \left\{R\left(1 + \frac{R_1}{R_2}\right) + R_1\right\} - P / \left\{R\left(1 + \frac{R_1}{R_2}\right) + R_1\right\} \quad (33)$$

$$4q_2 = q'_2 - q_2 = q'_2 / \left(1 + \frac{R_2}{R_1}\right) - q_2 / \left(1 + \frac{R_2}{R_1}\right) \\ = (R - 4P) / \left\{R\left(1 + \frac{R_2}{R_1}\right) + R_2\right\} - P / \left\{R\left(1 + \frac{R_2}{R_1}\right) + R_2\right\} \quad (34)$$

となる。従って鉄道 R_1 の輸送サ-ビス本準の向上によって起きた輸送量の変化分 $4q_1 + 4q_2$ は路線1への輸送量の増加分 $4q_1, 4q_2$ として配分され、更に並列に存する鉄道 R_1, R_2 へ輸送量の増加分 $4q_1, 4q_2$ として二段目に配分される。

3. あわりに

本稿ではモデルの説明を中心に行はるが、モデルの性質、挙動等の詳細は講演時に示す。

参考文献

足立一夫, "競合路線における輸送需要の構造モデルについて"

経営科学 第12巻3号, 1964